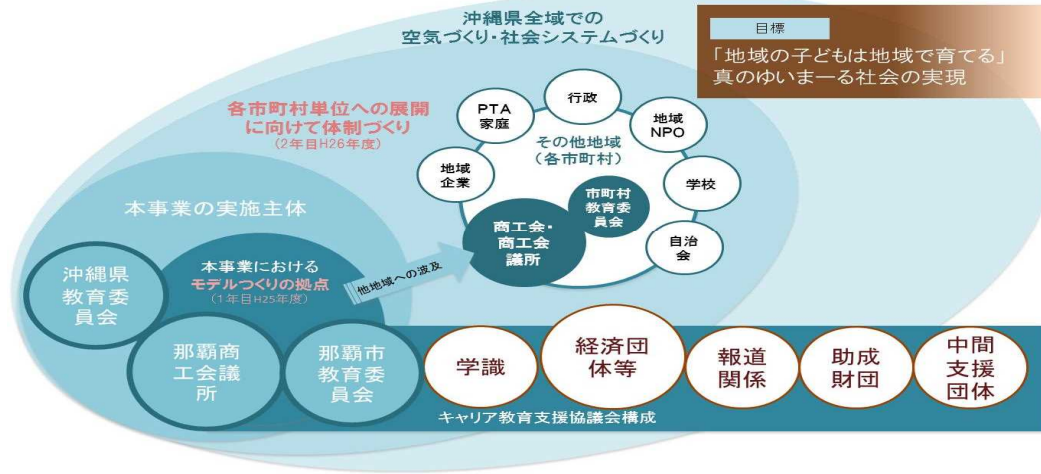


地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」実施報告書

1. 実施主体	
本事業を受託し、協議会の核となる経済団体等名	那覇商工会議所 (那覇商工会議所青年部教育交流委員会)
2. 現状及び課題	
現状 地域内でのキャリア教育に関する	<p>中学の職場体験および高校のインターンシップは、実施率 100%達成 沖縄県では、平成 15 年度から「夢にチャレンジ社会体験」として、小学校 5・6 年生に職場見学、中学校では 3～5 日間の職場体験学習、高等学校においてはインターンシップを実施。平成 17 年からは、中学校・高校の実施率は 100%に達している。</p> <p>学力の課題を受け、キャリア教育を「学力向上主要施策」に位置付け、全県をあげて推進 沖縄県教育庁では、平成 24 年度発行した『沖縄県学力向上主要施策「夢・にぬふぁ星プランⅢ」』において、「キャリア教育の視点を踏まえた学力向上対策」を重点施策のひとつとして位置付け、職場体験やインターンシップだけではなく、特に「教科活動におけるキャリア教育の取り組み方」の研修実施や研究に力を入れ、全県下の学校での推進を促している。</p> <p>雇用施策との連携によるキャリア教育の推進も 沖縄県では、若年者の失業率や早期離職率が非常に高く、若者の就業の課題への対策としてもキャリア教育が注目され、商工労働雇用政策関連施策においても教育庁との連携のもと『高校生等のためのキャリア形成支援事業』において高校・大学におけるキャリア教育の指針づくりを行うなど取組が行われている。</p>
する課題 地域内でのキャリア教育に関する	<p>企業や地域の、キャリア教育への一歩進んだ関わり方の促進が不可欠 職場体験・インターンシップの実施率は 100%に達してはいるが、企業の職場への受け入れに対する理解や職場体験・インターンシップの質については、受け入れ企業から「何をさせて良いか分からない」「受け入れても効果を感じられない」などの意見が多数あり、未だ多くの課題が残る。また、職場体験等のみならず、キャリア教育の教科等へとの連動を推進する上で、企業の持つ技術等を教科と連動させるなど一歩踏み込んだキャリア教育との関わり方を周知していくことが必要となってくる。</p> <p>離島・僻地においても格差のないキャリア教育推進の体制づくり 沖縄県は多くの離島を有しており、ほとんどの離島においては、教職員が本島から 2～3 年の任期で配属される。また、高等学校がない離島ではすべての生徒が中学卒業後親許を離れ本島の高校へと進学をする。生徒らのキャリア形成を促すには、児童生徒の生活の背景や離島における「自立」のあり方なども踏まえたキャリア教育の取組が重要だが、現状としては難しい現状があり、子どもらのキャリア教育に学校や教員だけでなく、より多くの地域人材の関わり継続的に児童生徒らのキャリア形成に関われる体制が必要となってくる。</p>
3. 委託内容に対する取組	

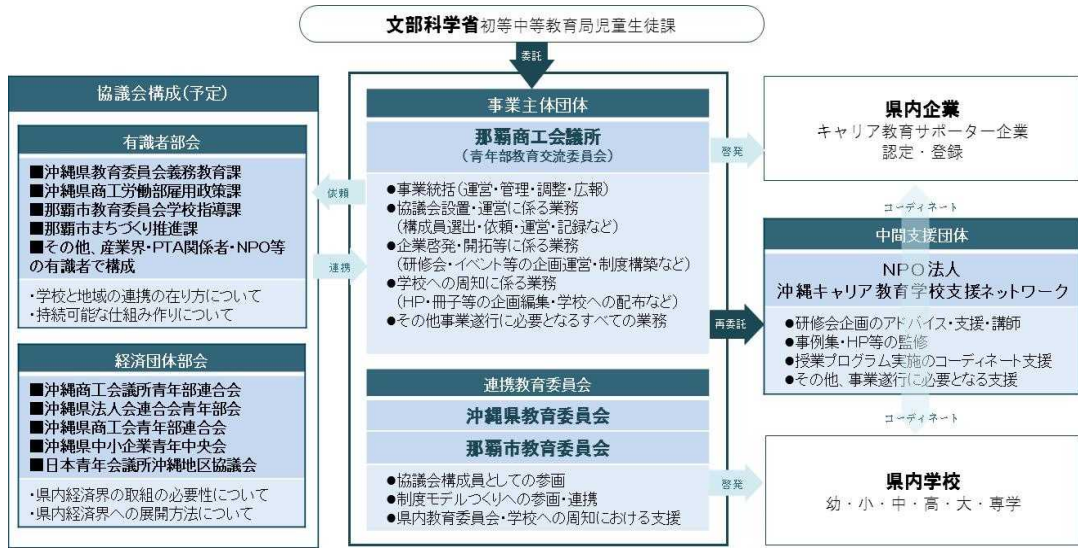
(1)学校におけるキャリア教育に対する支援を目的として、地域の関係者が参画する会議体の設置及び運営

地域の推進体制(図などを用いて地域全体の体制が分かるように示すこと)



	団体名	役割
協議会の構成	【有識者部会】那覇商工会議所青年部	➢ 主体事務局、県内企業への啓発
	【有識者部会】沖縄県教育委員会	➢ 県教育行政、沖縄県全域への周知
	【有識者部会】那覇市教育委員会	➢ 地域教育行政、那覇市モデルづくり
	【有識者部会】沖縄県商工労働部雇用政策課	➢ 雇用関連施策との連携
	【有識者部会】沖縄キャリア教育学校支援ネットワーク	➢ キャリア教育コーディネーター、 ➢ 有識者
	【有識者部会】キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会	➢ プログラム・システム等への助言
	【経済団体部会】那覇商工会議所青年部	➢ 主体事務局、県内他経済団体への啓発
	【経済団体部会】那覇法人会青年部	➢ 法人会会員を中心とした経済界への啓発
	【経済団体部会】沖縄県中小起業家同友会	➢ 同友会会員を中心とした経済界への啓発
	【経済団体部会】沖縄県中小企業青年中央会	➢ 中央会会員を中心とした経済界への啓発
【経済団体部会】那覇青年会議所	➢ 青年会議所会員を中心とした経済界への啓発	

事業の自立的かつ発展的な運営体制



目標

目標1-産業界が発信主体となる協議会づくり
企業向けの「キャリア教育参画のための勉強会」等を開発・実施し、キャリア教育等への協力実績のない企業でも参画できる支援体制をつくる

- 那覇市拠点モデルの完成
- 他市町村への協議会展開のイメージづくりと検証
- 離島・僻地への協議会展開のイメージづくりと検証

目標2-キャリア教育サポート企業の開拓
職場体験受け入れ企業・授業プログラムの提供する「連携企業」を開拓する
 (※「連携企業」は、学校への出前授業プログラムや職場体験受け入れに協力する企業)

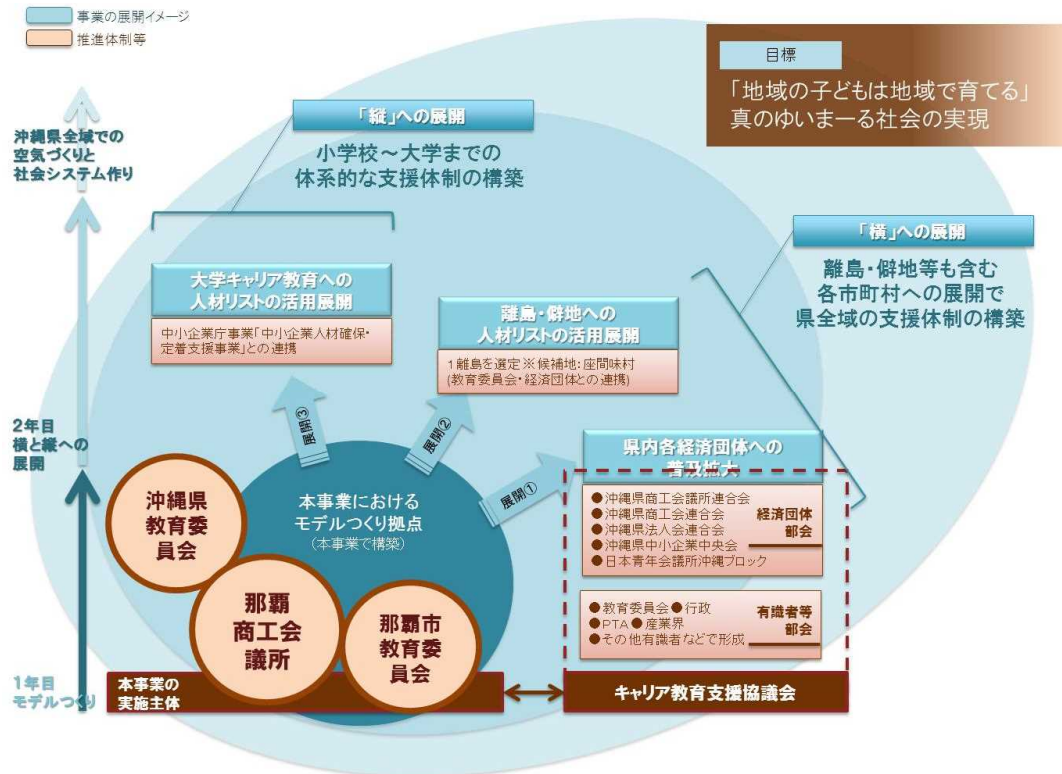
今年度目標	➢ 出前授業連携企業開拓数	50社 (授業プログラム50プログラムが完成)
	➢ 職場体験受け入れ連携企業開拓数	80社

目標3-プログラム開発と学校とのネットワーク構築
出前授業の実施、学校に対する研修会やイベント・フォーラムの実施等で、支援内容を県内全域に周知し、学校や教職員とのネットワークを築く

今年度目標	➢ 出前授業実施数(小中高)	10プログラム
	➢ 出前授業実施数(大学)	3~5プログラム
	➢ 交流会参加学校目標数	30校
	➢ フォーラム参加学校目標数	80校
	➢ 事例集配布	県内全小・中・高・(約600校)

2年目となる今年度は、1年目の取り組みの成果をもとに「縦」と「横」の展開(展開①～③)を図り、県内全域への普及展開を図るための基盤整備を行う

■事業の展開イメージ



方針

展開①-県内各経済団体への普及拡大

昨年度の取り組みの主体となった那覇商工会議所から県内他経済団体への波及を図り、他市町村への協議会展開の基盤整備を行う

H25年度においては、那覇商工会議所と那覇市教育委員会との連携を中心に協議会を設置し、企業のオリジナル授業開発ワークショップを実施、授業プログラムリスト(企業リスト)を作成してきたが、今年度H26年度は将来的な他市町村への協議会展開を見据え、昨年度開発してきたワークショップ手法や企業リスト開発手法等を他の経済団体へ波及させることにより県内全域における経済界の教育参画の基盤整備を行う。

- ① 協議会内への「経済団体部会」の設置(県内5経済団体で構成)
- ② 経済団体を構成する5経済団体の共同開催により『キャリア教育経済団体サミット』を開催
- ③ 「授業プログラム開発ワークショップ」について5経済団体の全会員へ通知

展開②-離島・僻地への人材リスト(企業リスト)の活用展開

展開①に加え、沖縄の特徴的課題とも言える離島(僻地)のキャリア教育の展開について課題等を抽出し、那覇市などとの連携等も含めた協議会展開モデルを検証する

他の市町村への展開を見据える上で、離島(僻地)においては企業数が限られ子ども達の就業体験の機会が他市町村と比較して圧倒的に少ないなどの事情を考慮した展開モデルを検証する必要があるため、今年度は、那覇市で構築した人材リストを活用し、那覇市と1離島(選定を行う)の連携モデルの検証を行う。

- ① 離島への視察と課題等の共有
- ② 離島への授業プログラムの提供(授業の実施)

展開③-大学キャリア教育への人材リスト(企業リスト)の活用展開

作成した企業リストの大学におけるキャリア教育への汎用性を検証し、県内全域の小学校～大学等における体系的な人材育成基盤の構築を図る

沖縄県では、県内の若年者の失業率や早期離職率の課題を踏まえ、大学におけるキャリア教育の推進も急務である。また、経済界においても中小零細企業の占める割合が高く、経済力や発信力の不足から若手人材の確保・採用について課題を持つ企業が少なくないため、大学におけるキャリア教育の推進や企業と大学生のマッチングを促す取組も多く行われているが、このような取組に参加をする企業は一定の企業に偏りが見られる。そのため、今年度は、企業リストに登録する企業へ大学キャリア教育への参加も促せるよう、大学キャリア教育へも汎用できるような授業プログラムの開発と検証を行う。

- ① 大学におけるキャリア教育系講義への出前授業プログラムの開発
- ② 大学での授業の実施(検証) ※中小企業庁実施事業「中小企業の人材確保・定着支援事業」との連携で行う。

(2)学校の教育活動に対して行われる、社会人講師の派遣や企業等が作成する一定の教育コンテンツの提供などによる支援の促進

① 支援を提案する支援提供者を開拓すること

取組1-県内企業(協議会部会を構成する5経済団体会員)に向けての研修会の開催
県内企業が「キャリア教育」や「教育CSR活動」について理解を深められるよう、研修会を開催した
《変更》⇒今回は、時期的に研修会開催が厳しかったため、昨年作成した企業プログラムの実践をかねて公民館でのミニイベントを開催。地域の方とYEG会員に向けて、企業が作ったキャリア教育授業を行った。

【実施概要】

日時	平成 26年 8月 1日(金) 10:00-12:00
場所	若狭公民館 第3ホール、第3研修室
対象	地域のみなさん、教育関係者の方々、YEG子弟
参加費	無料
主催	那覇商工会議所青年部 (共催) 若狭公民館
目的	県内企業が開発した授業プログラムの体験を通して、子ども達に働く喜びや楽しさ、学校で学んでいる事と、社会の繋がりを感じてもらうことをねらいとする。また、行政やYEG関係者にもキャリア教育活動を知ってってもらう機会とする。
周知広報	商工会議所へチラシ配布、若狭公民館からの情報発信 (HP掲載・チラシ配布) 県雇用政策課、県教育庁、市教育委員会へ公文送付。キャリア教育担当者の見学を依頼
参加者	子ども10人 大人43人 (スタッフ含む)
内容	<p><u>10:00~10:45</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●3階ホール (ブース①)「もしも物流がなくなったら」(株)あんしん ●3階ホール (ブース②)「お・も・て・な・し」BRA18 ARTISTUILD ●第3研修室 「介護で英語だYO!!」(福) 僱生会 <p><u>11:00~11:45</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●3階ホール (ブース②)「お客さんがたくさん来る広告を作ってみよう」(株)ラジカル沖縄 ●第3研修室 「社会もんだいについて」(福) 僱生会

《BARのお仕事》

●バーという、子どもたちには少し遠い世界のお話かと思いきや、話を聞いている女の子たちの目がきらきらしていたのが印象的でした。実践をまじえ現物に触れる体験がとても良かったと思います。

●子ども達へ、今やっていることが将来へつなげることを一生懸命話して良かったです。バーテンダーさんの本当の仕事（来客者を幸せにすること）がわかりました。夜の仕事は大変だと思いますが、がんばってください。

アンケート結果 ～その他の感想（自由に記述）～

●子供たちの様子がおもしろかった。いろいろな仕事があってその仕事を真剣に考えている。実際に現場を見ておもしろかった。

●企業の方々が頑張っている姿を見ました。これを学校とどうつなげるかが私たちの仕事ですので考えていきます。（行政関係者）

●企業側が「考える」ということをもっと利用して、若年者層に参加させる仕組みにすると、キャリア教育だけでなく企業側の従業員の成長にもつながると思う。集客について検討したほうが・・・。（地域の方）

●子供向けには、学校の勉強（小中高大）が、どのように将来に結び付いているのか体験させながら考えさせるイベントだと思うので、講師の方々もその視点を持ってワークショップをしていただきたのは良かった。本日は、天候も悪く、子供が少なかったので残念でした。

（教育関係者）

広報期間が短く、天候にも恵まれなかったが（途中から暴風警報発令）、参加者からは様々なフィードバックをいただき、実践の大切さをあらためて感じた。講師のにとって今後の活動につながる貴重な機会となった。

取組2-企業オリジナルキャリア教育プログラム作成のための勉強会開催

県内企業を対象に、「各企業オリジナルのキャリア教育プログラム」を作成するワークショップを開催し、企業リストへの登録を促す

《変更》⇒今回のワークショップでは、新規プログラム作成と、昨年作ったプログラムのブラッシュアップを通して、プログラム作りのノウハウをパッケージ化することを目的とした。

【実施概要】

- H25年度に開発した「企業オリジナルプログラム作成ワークショップ」を、協議会部会を構成する5経済団体の会員を中心とした県内企業を対象に開催。：方向の修正点⇒今回のワークショップは、一般や全会員への募集はせず、コアメンバーと若狭公民館イベント「知ろう、学ぼう、キャリア教育」参加企業を中心に行った。
- 全3回×年間 2 回実施、50 社参加(50 授業プログラムの完成)を目指す。：⇒全3回×年間 1 回実施。
- 県内のキャリア教育コーディネーター団体(NPO法人沖縄キャリア教育学校支援ネットワーク)と連携で開催。※同法人は県内のキャリア教育コーディネーターの育成を通し、幼～大学・専門学校におけるキャリア教育の推進を支援するNPO団体である。

回	内容	日時・場所
第1回	<p>みんなでブラッシュアップ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ <u>まずは、「知ろう、学ぼう、キャリア教育」イベントに参加しての感想を参加者全員で振り返り</u> ➢ <u>講師として参加した企業(授業担当者)によるプログラムの説明と感想</u> <input type="checkbox"/> 思いがけなかった事や意外だったこと <input type="checkbox"/> きづいた事、改善点は？ ➢ <u>みんなでブラッシュアップ</u> <input type="checkbox"/> プログラムの「いいねポイント」を発掘 <input type="checkbox"/> さらにこのプログラムを進化させるために、新たなアイデアを発掘 <input type="checkbox"/> 修正点を絞り、全体の流れを考える 	平成 8年 2月 (火) 添石総合会計事務所 19:00～22:00
第2回	<p>新しい授業プログラムを作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ <u>新しいプログラム作りを行う2社の魅力を、みんなで引き出そう</u> <input type="checkbox"/> 自社の仕事内容を紹介してもらおう⇒参加者は模造紙に魅力と感じたポイントを自由に書き出していく(資料画像①) <input type="checkbox"/> さらに、根堀り葉堀り、魅力発掘、お仕事インタビュー ➢ <u>2チームに別れ、素材を組み合わせながら、皆でプログラムを作ってみよう</u> <input type="checkbox"/> 小・中・高教科書を参考に、実施テーマを絞ろう <input type="checkbox"/> 対象学年、教科を決めよう <input type="checkbox"/> 流れを作ってみよう <input type="checkbox"/> グループごとに発表 	平成 9年 2月 (火) 那覇商工会議所2F 19:00～22:00
第3回	<p>新しい授業プログラムを完成させよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ <u>まずは、生徒の気持ちになって、既存のプログラムを体験してみよう</u> <input type="checkbox"/> いいところを盗もう！業務との関連は？意欲を上げるポイントは？ ➢ <u>参加者同士で気づいた事や感想をシェアしよう</u> ➢ <u>第2回に作った内容を指導案に落とそう(資料画像②)</u> <input type="checkbox"/> 業務に関連した内容になっているか <input type="checkbox"/> 興味を持たせる内容になっているか <input type="checkbox"/> 何を伝えたいのか？ ➢ <u>出来た所までを伝えあおう</u> ➢ 	平成 9年 9月 (火) 添石総合会計事務所 19:00～22:00

沖縄まるごと
お仕事せんせい
プロジェクト

プログラム名

知って！重機のしくみ！

■企業名 **株式会社高江洲工機**

- ◆業種： 土木建設業
- ◆事業内容： 建設機械レンタル・販売
- ◆従業員数： 8名
- ◆所在地： 沖縄県読谷村吉堅472-1番地
- ◆HP： <http://www.takaesu.co.jp>



プログラムの内容

- 様々な建設機械を紹介する。
- 油圧のしくみを知ってもらう。
- 油圧機械を使って実際に体験してもらう。

- 対象
 - ・ 小学校高学年/理科/力のしくみ
- 育みたい力
 - ・ 日常生活の中で科学的な法則が利用されていることを知ること
 - ・ 職種に対するイメージを広げる力を養ってほしい。
- 伝えたい思い
 - ・ 建設土木業界への職業観を伝えたい

授業の流れ

所要時間 50分

授業の内容	準備物・留意点等
<p>◆会社紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業という枠組みの中でどのように関わって仕事をしているのか紹介する。 <p>◆様々な重機を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重機がどのような仕組みで動いているのかクイズで紹介する。 ・身近な油圧を使って動いている車や機械を写真を使って紹介する。 	<p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> プロジェクター <input type="checkbox"/> パソコン <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

授業の内容	準備物・留意点等
<p>◆油圧について</p> <p>授業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イラストを使って油圧のしくみを説明する(パスカルの原理をつかう) ● 油圧の力が建設機械のどの部分に使われているか皆で考える。 ● 実際の駆動部分を使って説明する。 <p>取り組み方の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ● パスカルの原理を使い、小さな力を大きな力に変えるという説明を理科の授業の要素を取り入れ説明する。 	<p>【準備するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> プロジェクター <input type="checkbox"/> パソコン <input type="checkbox"/> 油圧ジャッキ(建設機械の一部)
<p>◆実際に油圧を使った機械を動かしてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 鉄筋カッター(油圧機器)を使って鉄の棒(鉄筋)を切ってみる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2~5名体験(女の子にも) ・ 前に出てきてもらって、一人ずつ体験してもらう。 ✓ 油圧ジャッキを使って重いものを持ち上げる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2~3名体験 	<p>【準備するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 鉄筋カッター <input type="checkbox"/> 鉄筋 <input type="checkbox"/> 油圧ジャッキ
<p>◆生活整備に油圧機械が使われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設業には欠かせない油圧機器が引いては我々の生活にどのように関わっているかお話しする。 	<p><input type="checkbox"/> プロジェクター</p>
<p>◆本日の授業(活動)の意義を再確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本授業を通して、普段勉強している理科が油圧のしくみに活用されていることを知る。 ・社会生活基盤を建設するこの業界は不特定多数を顧客としたため子供たちが職業としてあまりイメージもっていないが本事業を通して広い職業観を養ってもらおう。 	

《BARのしごと》

●バーという、子どもたちには少し遠い世界のお話かと思いきや、話を聞いている女の子たちの目がきらきらしていたのが印象的でした。実践をまじえ現物に触れる体験がとても良かったと思います。

●子ども達へ、今やっていることが将来につながることを一生懸命話していて良かったです。バーテンダーさんの本当の仕事（来客者を幸せにすること）がわかりました。夜の仕事は大変だと思いますが、がんばってください。

アンケート結果 ～その他の感想（自由に記述）～

●子供たちの様子がおもしろかった。いろいろな仕事があってその仕事に真剣に考えている。実際に現場を見ておもしろかった。

●企業の方々が頑張っている姿を見ました。これを学校とどうつなげるかが私達の仕事ですので考えていきます。（行政関係者）

●企業側が「教える」ということをもっと利用して、若年者等に参加させる仕組みにすると、キャリア教育だけでなく企業側の従業員の成長にもつながると思う。集客について検討した方が・・・。（地域の方）

●子供向けには、学校の勉強（小中高大）が、どのように将来に結び付いているのか体験させながら考えさせるイベントだと思うので、講師の方々もその視点を持ってワークショップをして頂いたのは良かった。本日は、天候も悪く、子どもが少なかったので残念でした。

（教育関係者）

広報期間が短く、天候にも恵まれなかったが（途中から暴風警報発令）、参加者からは様々なフィードバックをいただき、実践の大切さをあらためて感じた。講師にとって今後の活動につながる貴重な機会となった。

取組2-企業オリジナルキャリア教育プログラム作成のための勉強会開催

県内企業を対象に、「各企業オリジナルのキャリア教育プログラム」を作成するワークショップを開催し、企業リストへの登録を促す

《変更》⇒今回のワークショップでは、新規プログラム作成と、昨年作ったプログラムのブラッシュアップを通して、プログラム作りのノウハウをパッケージ化することを目的とした。

【実施概要】

- H25年度に開発した「企業オリジナルプログラム作成ワークショップ」を、協議会部会を構成する5経済団体の会員を中心とした県内企業を対象に開催。：方向の修正点⇒今回のワークショップは、一般や全会員への募集はせず、コアメンバーと若狭公民館イベント「知ろう、学ぼう、キャリア教育」参加企業を中心に行った。
- 全3回×年間2回実施、50社参加(50授業プログラムの完成)を目指す。：⇒全3回×年間1回実施。
- 県内のキャリア教育コーディネーター団体(NPO法人沖縄キャリア教育学校支援ネットワーク)と連携で開催。※同法人は県内のキャリア教育コーディネーターの育成を通し、幼～大学・専門学校におけるキャリア教育の推進を支援するNPO団体である。

回	内容	日時・場所
第1回	<p>みんなでブラッシュアップ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ まずは、「知ろう、学ぼう、キャリア教育」イベントに参加しての感想を参加者全員で振り返り ➤ 講師として参加した企業(授業担当者)によるプログラムの説明と感想 <ul style="list-style-type: none"> □思いがけなかった事や意外だったこと □きづいた事、改善点は？ ➤ <u>みんなでブラッシュアップ</u> <ul style="list-style-type: none"> □プログラムの「イイねポイント」を発掘 □さらにこのプログラムを進化させるために、新たなアイデアを発掘 □修正点を絞り、全体の流れを考える 	<p>平成 26 年8月2日 (火) 添石総合会計事務所 19:00～22:00</p>
第2回	<p>新しい授業プログラムを作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ <u>新しいプログラム作りを行う2社の魅力を、みんなで引き出そう</u> <ul style="list-style-type: none"> □自社の仕事内容を紹介してもら⇒参加者は模造紙に魅力と感じたポイントを自由に書き出していく(資料画像①) □さらに、根堀り葉堀り、魅力発掘、お仕事インタビュー ➤ <u>2チームに別れ、素材を組み合わせながら、皆でプログラムを作ってみよう</u> <ul style="list-style-type: none"> □小・中・高教科書を参考に、実施テーマを絞ろう □対象学年、教科を決めよう □流れを作ってみよう □グループごとに発表 	<p>平成 26 年9月2日 (火) 那覇商工会議所2F 19:00～22:00</p>
第3回	<p>新しい授業プログラムを完成させよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ まずは、<u>生徒の気持ちになって、既存のプログラムを体験してみよう</u> <ul style="list-style-type: none"> □いいところを盗もう！業務との関連は？意欲を上げるポイントは？ ➤ <u>参加者同士で気づいた事や感想をシェアしよう</u> ➤ <u>第2回に作った内容を指導案に落とそう(資料画像②)</u> <ul style="list-style-type: none"> □業務に関連した内容になっているか □興味を持たせる内容になっているか □何を伝えたいのか？ ➤ <u>出来た所までを伝えあおう</u> ➤ 	<p>平成 26 年9月9日 (火) 添石総合会計事務所 19:00～22:00</p>



ワークショップ募集チラシ



ワークショップの様子



ワークシート「うちの会社自慢」



実際にワークで出てきた内容



業務と教科の関連するところは？



企業の強み・魅力をみんなで発掘



生徒の目線になって発表を聞いてみる

新しい指導案フォーム



新しく作成されたプログラム

★株式会社沖縄共聴設備



★株式会社高江洲工機



【今年度新たに作成した授業プログラム】※1・2～教科と連動したプログラム、3～お仕事先生プログラム

	企業名	業種	プログラム名	教科・単元
1	高江洲工機	土木建設	「知って!重機のしくみ!」	理科・力のしくみ
2	沖縄共聴設備	電機工事業	「見えない情報を見える情報でキャッチしよう」	国語・社会
3	金城 今日子 (沖縄共聴設備)	電機工事業	「つなげる仕事」	総合の時間
4	長濱 健二 (ラジカル沖縄)	求人広告	「広告で、えんむすび!？」 「お仕事いろいろ探し方」	総合の時間
5	梁 裕之 (宣伝)	広告	「もし、広告がなかったら」 「好きなタレントと会う方法」	総合の時間
6	長山 努(南風)	不動産	「お家が建つまで」 「沖縄と東京の不動産の違い」	総合の時間
7	渡口 政也(偕生会)	福祉	「人の役に立てる喜び」	総合の時間
8	前城 潤(偕生会)	福祉	「介護の仕事はスーパーマン」	総合の時間
9	知花 拓(あんしん)	物流	「心を運ぶ物流の仕事」	総合の時間

【これまでに作成した那覇商工会議所青年部の授業プログラム】

- ①NPO法人沖縄県資格支援研究所「盲導犬ってなあに?」
- ②沖電工「台風の日は大忙し」
- ③十文字屋呉服店「季節で違ういろんな着物」
- ④お花とケーキのお店横網「お花を届けて笑顔の魔法」
- ⑤弥生印刷「印刷のお仕事、自分で紹介するものってなあんだ」
- ⑥ヤブサチ「自分だけのケーキを作ってみよう」
- ⑦Century21 南風「物件から見える社会」
- ⑧昭美堂「小さいけれど、大切なもの。ハンコをつくってみよう!」
- ⑨アクサ生命「〇〇を守るお仕事」
- ⑩沖縄トヨタ自動車「目指せ!未来のエンジニア」
- ⑪パム「泡盛マイスターが語る沖縄の魅力」
- ⑫りゅうせき商事「ファイナンシャルプランナーへの道」
- ⑬添石総合会計事務所「教えちゃいます!お金持ちになる方法」
- ⑭マエダ電機工事「社長の仕事ってなあに?」
- ⑮匠事務所「成せばなる!仕事、家事、育児をしながら司法書士に」
- ⑯ジブラルタ生命「大人ってどーなの?」「未来を作る保険の仕事」
- ⑰天方徹法律事務所「人生で一度は本気で頑張る」
- ⑱アカネクリエーション「発想で仕事は変わる!～広告会社の挑戦～」
- ⑲RyuQ A r t s「つついノートに落書きしたくなる講座」
- ⑳NPS沖縄「キャリアデザイン」
- ㉑新垣菓子店「おきなわのお菓子を学ぼう」
- ㉒琉球コラソン「日本一おもしろいハンドボールゲーム」
- ㉓デザインルーム斗羽「琉球ガラスでお土産づくり体験」

取組3-更なる開拓のための『沖縄キャリア教育経済団体サミット』の開催

他地域への協議会展開を見据え、『沖縄キャリア教育経済団体サミット 2014』を開催し、県内の主要経済団体の会員企業への啓発へと拡大する⇒沖縄キャリア教育EXP02015内にて、第1回経済団体部会「発信！青年経済団体ガチ会議」を開催。

【実施概要】

- 産業界が未来の人材育成に向けて教育に関わる意義を確認し合い、企業として何を目的にどのような意義で関わるか、経済界が互いに Win Win の関係でつながりながら継続可能な連携を実現していくための具体的解決策を話し合った。次年度以降の仕組み化に向けて理解促進と教育支援活動の啓発を行った。

会議名	沖縄キャリア教育EXP0 第1回経済団体部会「発信!青年経済団体ガチ会議」～未来の担い手育成のために今我々にできることは～
日時	平成 26年 12月 13日(土) 12:00-14:00
場所	沖縄産業支援センター 3階 中ホール(312)
対象	県内企業経営者・那覇商工会議所会員、企業、関心のある全ての方
着席者	生重 幸恵 氏 ((一社) キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会 理事長) 菊 祥行 氏 (福井商工会議所青年部会長) 真栄田 一郎 氏 (沖縄県中小企業家同友会 組織委員長) 浦崎 真作 氏 (公益社団法人那覇法人会青年部 副部会長) 末広 尚希 氏 ((一社) 那覇青年会議所 副理事長) 識名 朝哉 氏 (那覇商工会議所青年部 会長) 添石 幸伸 氏 (那覇市教育委員会 委員長) ファシリテーション 安里 繁信 氏 ((一社) 沖縄公共政策研究所 理事長) 司会進行 梁 裕之 (那覇商工会議所青年部)
内容	【1、基調講演】 生重 幸恵 氏 (一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会 理事長) 演題 「沖縄が目指す社会ビジョンとキャリア教育」 【2、ゲストスピーカー】 菊 祥行 氏(福井商工会議所青年部会長) 演題 「福井YEGがキャリア教育に取り組むワケ」 【3、公開会議】 テーマ 「未来の担い手育成のために今我々にできることは」



② 支援に関する提案を学校に提示すること

取組4- 冊子の制作と配布

⇒県内すべての学校へYEGのこれまでのキャリア教育活動を紹介した冊子を配布。学校や教職員へYEGの教育支援内容を周知する。(印刷準備中、近日配布予定)

取組5-HPへ「キャリア教育サポーター企業」と提供する授業プログラムのリスト掲載

ホームページに授業プログラムリストを掲載し、学校がHPから申込みができるようにする⇒本年度は、既存プログラムのブラッシュアップに力を入れたため、HP作成は、プログラム数を増やして次年度あらためてすることとした。

③ 個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)

学校からの要望に合わせ、作成したプログラムの中から以下の授業など4プログラムを実施した(平成27年2月13日座間味幼小中学校で実施)※取組6と連動

●企業(物流):「もしも、物流がなくなったら!」小学4～6年生に実施



●「お仕事先生講話」小学校と中学校で実施



(3)学校の教育活動として校外で実施される職場見学、職場体験活動及びインターンシップ等に対する支援 援の促進

① インターンシップ等の実施場所として児童生徒の受入れを提案する支援提供者を開拓すること

【取組1～3との連動により実施】

取組1～3 において開拓した企業が「キャリア教育サポート企業」として認定・登録される際は、インターンシップ等の受け入れ企業としての登録も同時に促す。

- 今年度は、80社の登録を目指す。⇒すでに多くの企業が登録しているが、今回新規の登録は増やさず、活動の発信に重きを置いた

② インターンシップ等に関する支援提供者の提案を学校に提示すること

【取組4～5との連動により実施】

取組4～5で作成されるプログラム事例集やホームページには、インターンシップ等受け入れ企業のリストも同時に掲載し、学校への周知を行う。

- 開拓したインターンシップ等の受け入れ企業リストについては、ホームページや事例集に掲載し学校へ提供する。
- また、各市町村等に設置される学校支援地域本部や他の学校支援協議会等へも提供することにより、連携協力した取組が展開できるよう留意する。⇒ホームページは、次年度に持ち越し。

③ 個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)

- 本県においては、地域ごとの学校支援地域本部などにおいて、地域の職場体験受け入れ企業などを開拓し、学校へ提供するなどの取組をすでに行っている地域も多く、このような機能をもった団体との連携は必須であるため、各学校へのリスト提供を行うと同時に、このような機能との連携を図りマッチングをしていく。
- また、高等学校のインターンシップの受け入れ企業開拓については、県教育庁県立学校教育課が一括して取りまとめているため、同課との連携も行う。

⇒平成26年11月30日(日)、那覇市立大道小学校「大道っ子まつり」にて、キャリア教育(お仕事先生)実施のため、那覇商工会議所青年部から参加。本事業にて研修を通して作成した企業のキャリア教育プログラムを授業で実施。(参加企業 au)

(4)その他の取組

取組 6-企業リストの活用展開モデルの開発と検証①-離島・僻地への展開 (※p.〇「方針」展開②より一部再掲)
沖縄の特徴的課題とも言える離島(僻地)のキャリア教育の展開について課題等を抽出し、那覇市などとの連携等も含めた協議会展開モデルを検証する

他の市町村への展開を見据える上で、離島(僻地)においては企業数が限られ子ども達の就業体験の機会が他市町村と比較して圧倒的に少ないなどの事情を考慮した展開モデルを検証する必要があるため、今年度は、那覇市で構築した人材リストを活用し、那覇市と1離島(選定を行う)の連携モデルの検証を行う。

【実施内容】

- ① 離島への視察と現地学校や教育委員会との課題等の共有
- ② 離島への授業プログラムの提供(授業の実施)

【離島の選定基準】

➤ 連携のモデルとなる離島は以下の基準を基に選定を行う

- 島内に高校がない離島
- 学校や教育委員会がキャリア教育の推進に積極的である(が、課題がありなかなか推進が進まない)
- 那覇市などの都市との連携で課題の解決が見込まれる
- 本事業の検証以降、島内にキャリア教育推進協議会を設置する意思があり、キャリア教育を推進するキーパーソンがいる

⇒今年度は、離島拠点での検証として座間味で視察と授業を行った。

平成27年 2月13日(金) : 小学校3・4校時 10:25~12:10 中学校5・6校時 13:35~15:25

学校:座間味村立座間味幼小中学校 対象:座間味小学校4~6年生(15人)、座間味中学校1~2年生(15人)

企業数が限られ、他市町村と比べて就業体験の機会が少なく、15の春に向けて自立を迫られる座間味の子供たち。那覇商工青年部は、昨年11月27日に、座間味幼小中学校を視察。離島の教育に、産業界が出来ることは何か、先生方へのヒアリングも行った。

《先生方の声》

●子供たちの良いところ

- ・素直さがある
- ・自分から進んで色々な事に取り組む
- ・勉強も頑張っている
- ・まじめな子が多い

●子供たちの課題とつけさせたい力など

- ・自分の気持ちが言えない
- ・壁にぶつかるとあきらめてしまう傾向がある
- ・多様な職業に出会う機会がない・・・
- 「見る」「考える」場を増やしてあげたい
- ・自立出来る力を身につけさせたいが、どういう指導をすればよいか・・・
- ・離島から本島で頑張っている人の話を聞かせたい
- ・一人一人の良さや強み、生き方を見つめさせたい



今回の座間味幼小中学校キャリア教育授業では、視察で得た情報を踏まえ、YEG が取り組んできた企業の技術と教科を連動させた授業プログラムと、YEG メンバーによるお仕事先生講話授業を実施。授業を通して、学校の学びと社会との繋りや、自分の可能性や将来について考えてもらう機会とした。

授業は、小学校と中学校でそれぞれ、①YEG 企業による授業と、②YEG 会員による一斉講話の2コマずつ行った。

◆【小学校】1コマ目 授業タイトル:「もしも、物流がなくなったら!？」(物流) 教科:算数、社会

講師: 知花 拓(シンバホールディングス 株式会社 あんしん)

伝えたい思い: 仕事と生活の関係性。物事を効率的に進めるにはどうしたらいいのか考える力。

授業内容: 物流という仕事を通して、身近な生活と仕事との関係に気づかせ、「効率」や「改善」についてのワークを通して、仕事の裏側にあるプロの様々な工夫や努力についても考えさせた。

<生徒の感想>・もし物流がなくなると座間味などの離島がさらに不便になるから物流は大切だなと思いました。(6年男子)

・「あんしん」という会社はあまり聞いた事がない様な会社で、陰では色々な会社があって、世の中には色々役立っていて、そういう職業もいいなと思った。(6年男子)

・お店に物があるのは当たり前だと思っていたけど、お店に物が運ばれるまでに、色々な工夫があることに驚きました。(6年女子)

・より良く改善すれば会社が良くなり、良くなるアイデアを出せば出すほどそれを利用する人なども増えるから一石二鳥だと思った。(6年女子)

◆【中学校】1コマ目 授業タイトル:「あなたの笑顔がわたしの笑顔」(福祉) 教科:公民、現代社会、道徳

講師: 渡口 政也、前城 潤(社会福祉法人 沖縄借生会)

育みたい力: コミュニケーション能力。お互いを支えあうを目的に、豊かな人間関係を築く

内容: 多くの生徒が暗いイメージを抱いている介護。プロとしての工夫ややりがいを伝えながら福祉の仕事を紹介。また、福祉の仕事において大切な「人の気持ちを感じることや、伝えることの難しさ」をワークを通して体感させながらコミュニケーションの重要性に気付かせるとともに、身近な人へ普段は言えない思いについて考えさせた。

<生徒の感想>・老人ホームは、介護のイメージしかなかったが、そこに居る人が楽しめる工夫をやっていることがわかった。また福祉は、マナー、モラル、デリカシーの3つに特に気を付けているとわかった。これは、社会で生きていくために大切なので意識していきたい。(中1女子)

・誰かのために仕事をがんばるのがすごく大切なことなんだと感じました。将来は、誰かの役に立つ仕事がしたいと思います。お話を聞かせてくれてありがとうございました。(中2女子)



◆【小学校】2コマ目

授業タイトル:「お仕事先生講話」 **講師:** YEG メンバー6人(長山、長濱、梁、金城、渡口、前城) **教科:** 総合的な学習の時間

伝えたい思い: 様々な仕事や生き方があることを知り、職業観をひろげるとともに、学校で学んでいることや、夢をもつことの大切さを伝えたい。

内容: YEG メンバー6人が、6ブースに分かれ、それぞれの仕事の紹介や伝えたい大切なことなど一斉に講話を行った。(各講話15分×2回実施)

児童には、前もって講師のテーマ一覧表から聴きたい話を2つ選んでもらい、聞きたいブースに移動し話を聞いてもらった。

<生徒の感想>

●講師の言葉で一番心に残った言葉～「ありがとう」

今まで使った事はあったけど、そんなに人を喜ばせる言葉だとは思いませんでした。みんないい気持ちになれる、そんな言葉はすごく身近なのでたくさん使いたいです。(4年女子)

●講師の言葉で一番心に残った言葉～「相手のことを知る」

この人苦手だな～とか自分と合わないからいやと、すぐに好き・きらいをしていたので、相手のことをたくさん知っていきたくと思いました。(6年女子)

●講師の言葉で一番心に残った言葉～「ライバルをみつければいい」

ライバルを見つけて負けないようにがんばりたいし、そしてお互い協力していきたくです。(5年男子)

講師の感想：

●知花 (物流の授業を担当して)

初めてクラスを担当した授業で緊張していたが、生徒の反応が良く、楽しみながら授業することが出来た。今回、特

に授業内容を変えずに行っただが、今後は、毎回毎回改善して、違う授業ができればいいなと思った。次回チャンスがあれば、違う授業を持ってきたい。

●金城（お仕事先生を担当して）

私は、女性ながら、電気工事業など男性の仕事をサポートする立場だが、今回は、資格について、
どういう資格を持っているとどういう特典があるよなど、そういう視点で話をさせてもらった。

この資格を持っていると幾らもらえる等、具体的な話をしつつ、それを得るためには、小中の勉強の積み重ねが大事だと伝えた。高校での選択の中に、資格を入れてねと伝えたので、誰かが資格を取って将来の職業に活かせるといいなと思っている。一つ、子ども達に資格を持っている職業って何ですか？と聞いたところ、中学生では1番目に、小学生では2番目に「先生」という答えが出てきた。子ども達が先生方も勉強して、資格を取って仕事をしているんだというイメージをもっているとわかり安心した。

先生の感想：

●高江洲 昌人先生（座間味中学校キャリア教育担当）

本当にありがとうございました！本物の力はすごいなあと感じた。普段あまり経験することがない、見たことも聞いたこともない職業の話、圧倒的な情報量で、私が全部聞いて回りたいくらいだった。子ども達も楽しかったと思う。また出来れば、機会があれば是非お願いしたい。学校としては、急な取り組みではあったが、ものすごく効果があったと思うし、子ども達のいい刺激になったと思う。

とてもいい授業だった。ありがとうございました。

●藪 周二校長先生

始めにお話を伺った時、「我が校の子どもたちは、本当に限られた職業しか見たり聞いたりしたことがない。何か刺激になるだろう」と実はそれくらいの期待でお願いをして。今日、実際に授業を見させていただいてびっくりしている。本当にお話は上手だし、実際に皆さんが持っているネタを子ども達に調理しながら出していらっしゃる場所は、先生方にも見てもらっていいところを盗んでもらいたいと思うくらい子ども達に訴える力があつた。それは一つに、「本物」であるということ。自分達が聞いてお話することと、本物の人に来てお話することは全然違う。皆さん、やりがいを持ってやっっている。誇りを持ってやっっている。そして、自信を持ってお話なさっている。そういった物が、子ども達に今日伝わったんじゃないか。まだまだ聞きたいお話もあつたし、時間も足りなかつたので、ぜひ次年度も、子ども達が未来を描けるよう、チャンスがあれば又お願いしたい。

取組 8-協議会の設置と2部会の開催

昨年度に引き続き設置する「有識者部会」に加え、県内5経済団体をメンバーとする「経済団体部会」の2部会で協議会を構成※取組③と連動

【有識者部会における協議内容】

- H25年度に引き続き、本事業の指針・評価等について外部有識者を交え検討協議。商工会議所青年部、沖縄県雇用政策課、沖縄県教育委員会、那覇市教育委員会、キャリア教育の専門家が中心となり、学校におけるキャリア教育の現状と課題、産業界における教育支援活動の現状と課題の共有、情報整理を行い、継続的な活動を推進していくことを目標として話し合った。

➤

回	内容	日時・場所
第1回	・本事業(2年目)における目標の共有 ・本事業の評価指標(方針)の策定	平成26年7月16日(木) 那覇商工会議所2Fホール
第2回	・拠点事業(那覇モデル)の成果報告と評価 ・各現場からの課題の提案	平成26年10月16日 (木) 若狭公民館2F会議室
第3回	・有識者部会の振り返り ・活動報告 ・次年度提案書について ・本事業の成果と課題、その解決策は?	平成27年3月4日(水) 沖縄産業支援センター306

協議会のメンバー

< 第1回有識者部会 >

氏名	所属・役職等
又吉 稔	沖縄県商工労働部 雇用政策課 課長
石嶺 真哉	沖縄県教育庁 義務教育課 指導主事
外間 郁生	那覇市教育委員会 学校教育部 学校教育課 指導主事
生重 幸恵	一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会 理事長
翁長 有希	NPO 法人沖縄キャリア教育学校支援ネットワーク 代表理事
仲田 秀光	那覇商工会議所 専務理事 (途中より大見謝課長補佐が代理着席)
下地 範雄	那覇商工会議所青年部
長山 努	那覇商工会議所青年部 (活動報告)
梁 裕之	那覇商工会議所青年部 (ファシリテーター)
※宮道 喜一	特定非営利活動法人 まちなか研究所 (ファシリテーショングラフィック)

< 第2回有識者部会 >

氏名	所属・役職等
又吉 稔	沖縄県商工労働部 雇用政策課 課長（代理出席:米須）
石嶺 真哉	沖縄県教育庁 義務教育課 指導主事
外間 郁生	那覇市教育委員会 学校教育部 学校教育課 指導主事
生重 幸恵	一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会 理事長
翁長 有希	NPO 法人沖縄キャリア教育学校支援ネットワーク 代表理事
織名 朝哉	那覇商工会議所青年部 会長
添石 幸伸	那覇商工会議所青年部
下地 範雄	那覇商工会議所青年部
長山 努	那覇商工会議所青年部（活動報告）
梁 裕之	那覇商工会議所青年部（ファシリテーター）
※宮道 喜一	特定非営利活動法人 まちなか研究所（ファシリテーショングラフィック）

< 第3回有識者部会 >

氏名	所属・役職等
又吉 稔	沖縄県商工労働部 雇用政策課 課長(代理:米須)
石嶺 真哉	沖縄県教育庁 義務教育課 指導主事(議会ため欠席)
外間 郁生	那覇市教育委員会 学校教育部 学校教育課 指導主事
生重 幸恵	一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会 理事長
翁長 有希	NPO 法人沖縄キャリア教育学校支援ネットワーク 代表理事
仲田 秀光	那覇商工会議所 専務理事（決席）
下地 範雄	那覇商工会議所青年部
長山 努	那覇商工会議所青年部（活動報告）
梁 裕之	那覇商工会議所青年部（ファシリテーター）
※宮道 喜一	特定非営利活動法人 まちなか研究所（ファシリテーショングラフィック）

オブザーバー参加：那覇教育委員会 学校教育部学校教育課 指導主事 望月雄紀、那覇青年会議所 末広尚樹



【経済団体部会】

- 将来的な本事業の県内全域への展開を見据え、YEGから県内他団体への波及を図るべく設置。団体それぞれに教育事業に力をいれており、キックオフでは活動紹介と情報交換を、ガチ会議では、経済界が協力して子どもの未来をどう描くのか活発な意見を交わし、ガチ会議の振り返りをかねた第2回部会では、これから育てたい未来の人材について意見を述べ合いながら、経済団体として5団体の活動の方向性を確認した。(取組③と連動)

回	内容	時期/形式
キックオフ	・本事業の趣旨・取り組み内容・目標等の共有・確認 ・意見交換	平成26年9月16日(木) 添石総合会計事務所
第1回	EXPO「青年経済団体ガチ会議」 ・生重氏 講演 ・菊氏 ゲストスピーカー ・議題: 未来の担い手育成のために今我々にできることは	平成26年12月13日(土) 沖縄県産業支援センター 3F 中ホール
第2回	・ガチ会議振り返り ・意見交換～育てたい人材像とは～	平成27年1月30日(金) 添石総合会計事務所

協議会の参加団体

< 経済団体部会キックオフ・参加メンバー >

氏名	所属・役職等
浦崎 真作	那覇法人会青年部
田畑 充明	那覇青年会議所
儀間 隆之	那覇青年会議所
加島 一郎	那覇青年会議所 OB
長山 努	那覇商工会議所青年部
長濱 健二	那覇商工会議所青年部
金城 今日子	那覇商工会議所青年部
梁 裕之	那覇商工会議所青年部
添石 幸伸	那覇商工会議所青年部

< 第1回経済団体部会ガチ会議・着席者 >

氏名	所属・役職等
生重 幸恵	一般社団法人キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会 理事長
菊 祥行	福井商工会議所青年部会長
安里 重信	一般社団法人沖縄公共政策研究所 理事長
系数 弘和	一般社団法人那覇青年会議所 理事長（代理出席：末広 尚希（副理事））
浦崎 真作	公益社団法人那覇法人会青年部 副部会長
真栄田 一郎	沖縄県中小企業家同友会 組織委員長
識名 朝哉	那覇商工会議所青年部会長
添石 幸伸	那覇商工会議所青年部 直前会長／那覇市教育委員会 委員長
梁 裕之	那覇商工会議所青年部 教育・スポーツ委員会副会長

< 第2回経済団体部会 >

氏名	所属・役職等
平山 達也	法人会青年部 会長
浦崎 真作	那覇法人会青年部 副部会長
系数 弘和	日本青年会議所沖縄地区協議会 沖縄地区会長
国吉 敦	那覇青年会議所 専務理事
新垣 安仁	那覇青年会議所 副理事
石川 誠司	中小企業青年中央会 会長
平良 貴	那覇青年会議所、新年度理事長
添石 幸伸	那覇商工会議所青年部 直前会長／那覇市教育委員会 委員長
長山 努	那覇商工会議所青年部
長濱 健二	那覇商工会議所青年部
金城 今日子	那覇商工会議所青年部
梁 裕之	那覇商工会議所青年部
下地 範雄	那覇商工会議所青年部
久高 玲子	那覇商工会議所青年部
大城 理奈	那覇商工会議所青年部

4. 計画・スケジュール

月	▼協議会	▼主な取組	▼	▼その他
6月				
7月	第1回有識者部会開催			.
8月		【取組1】若狭公民館 「知ろう学ぼうキャリア教育」 【取組2】ワークショップ(1回目)		
9月	経済団体部会キックオフ	【取組2】ワークショップ(2回目) ワークショップ(3回目)		
10月	第2回有識者部会開催			YEG九州ブロック大会
11月			【取組6】離島拠点への視察	大道ッ子祭り
12月	【取組3】EXPO第1回経済団体部会ガチ会議			EXPO 働く大人が作った学校の授業
1月	第2回経済団体部会			YEG定例会
2月			【取組6】離島拠点での授業実施	・報告書作成・会計資料のまとめ
3月	第3回有識者部会開催	【取組4・5】冊子の配布・郵送		・報告書作成・会計資料のまとめ

5. 取組により見込まれる成果と課題

企業・産業界が主体となる「新しい形のキャリア教育支援」のあり方が開発される

今年度、2年目となる本事業においては、産業界が主体となる、学校支援の在り方を形にすることを目標に掲げてきた。これまで「こどものために何かしたいが、どう連携してよいか分からない」と、学校への壁を感じてきた企業も少なくない中、企業のノウハウや技術を学校教育へ活用する方法や連携の方法を仕組み化するため、教科と単元を連動させた授業プログラムを作りを行うなど、学校が取り入れやすい教科と企業の教育参画にむけて地道に努力を重ねてきた。

多くの企業が学校やキャリア教育についてより深く理解することにより、教育参画率が上がる

これまで本県では、企業や産業界を対象にしたキャリア教育研修などはあまり行われてこなかった。本事業において、企業向けにキャリア教育の理解を深める研修やイベントを実施することで、「なぜキャリア教育が必要なのか」や「教育参画が将来、産業界の担い手育成につながる」と、アンケートや感想を通して、企業の教育への参画動機になっている。また、キャリア教育授業を経験した講師の成長は、目を見張るものがあり、つねに改善をおこなうなど、教える立場から気付きをもらうことで、学び合い育ち合い、大人の成長にもつながっている。

学校や教職員についても、企業の思いや意欲に触れることにより更なるキャリア教育推進に繋がる

学校の教職員は、「企業の迷惑になるのでは」との懸念からキャリア教育などで企業へ協力依頼することを躊躇する教職員も少なくないと聞く。実際に、座間味を視察した際にも、先生方から同じ話を伺った。

本事業を通じ、企業も学校への支援をしたがっているのだ、子ども達の幸せを思う気持ちは同じという積極的な姿勢を感じてもらえたことが、今年度の、座間味でのキャリア教育授業につながった。

学校のニーズに丁寧に寄り添うことを心がけ、学校の教職員らが外部人材活用を躊躇なく行えるよう心がけながら、これからは経済界だからこそ出来る授業を届けていきたい。

しかしながら、学校には、我々の活動はまだ届いていない。今後は、教職員と企業の交流会やワークショップなども検討したい。

教科等と連動したキャリア教育の推進が進むことにより、学力向上対策の一助となる

これまで企業の学校への連携は、職場体験の受け入れなどにとどまっており、授業单元などへの外部人材活用はニーズが高かったにも関わらずあまり進んでこなかった。今回、座間味での授業後、小学校の先生から、算数の授業への姿勢が明らかにかわったと聞いた。また、講師が「今の勉強が将来に役に立つよ」と語りかけていたことも印象的だったと伺った。本事業の取組により、今後も生徒一人一人が「学びと将来のつながり」をより実感してもらえる機会が増えるよう努力していきたい。

文部科学省との連絡担当者	
所属・役職	那覇商工会議所中小企業相談部
氏名	高江洲 昌治（たかえすまさはる）
電話番号	098-868-3758
FAX番号	098-866-5728
E-mailアドレス	takaesu@nahacci.or.jp